



## 授業デザインミーティング実施

今年度、全校縦割りで授業デザインミーティングを3回計画しています。1回目は、単元検討や授業内容の検討について様々な意見、アイデアを出し合いました。今回は、中学部2年と3年の職業・家庭科、高等部2年と3年の職業科の様子についてお伝えします。

### 中学部2年 職業・家庭科

<b>子どもの思いや願い(自立活動の視点も含む)</b> ・どんな仕事があるか知りたい。 ・料理や裁縫などできるようになりたい。 ・お金の使い方や管理について知りたい。	
<b>学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い</b> ・自分の長所や短所を知り、未来のスケッチ(年間、学期ごと)を書く。 ・洗濯や掃除、簡単な調理など経験し、家庭生活に生かして欲しい。 ・家庭・寄宿舎・学校と連携して、規則正しい生活(3食食べる、ゲームや動画の時間を守る)ができるようになってほしい。	
<b>年間の単元計画</b> ・清潔について(洗濯、掃除) ・規則正しい生活、バランスのいい食事(自分の生活、栄養、献立、調理) ・B型の見学、高等部の実習見学(進路について) ・未来のスケッチ	<b>系統的な視点から</b>
<b>教師の支援(手立て)</b> ・授業の流れ(全体→グループ→全体など)を同じようにして、見通しをもたせる。 ・活動内容や学習の流れの提示	
<b>授業の工夫(しかけ)</b> ・めあてを自分たちで考える(達成感につながる)・・・自分たちで全部は難しいと思うので、教師がのせる形かな。	
<b>関連する各教科等(内容を含む)</b> 国語(聞くこと、書くこと、読むこと) 数学(数と計算、測定) 保健体育(体力づくり、健康・安全) 日指(係活動、朝・帰りの準備、給食等々) 作業学習 生単(調べ学習等々)	

### 出されたアイデア

- ・経験や体験を重視し、基本的な内容を取り扱う。
- ・家庭科と職業科の比率で、家庭科の時数や内容を多めにする。
- ・基本的な生活習慣(洗顔、入浴、身だしなみ)レンジ調理、おにぎり作りなどを学ぶ機会を設定する。
- ・動画を制作する生活単元学習とリンクさせながら学習する。
- ・職業科、作業学習との関連を考えながら学習し、高等部の学習についても見通しをもてるように工夫する。
- ・栄養士、寄宿舎指導員、高等部ビルクリーニング班の先生、食品加工の先生など担任外、外部講師を活用し、本物の人から学ぶ。
- ・生徒自身がレベルアップできた実感できるように振り返りを大切にします。

### 中学部3年 職業・家庭科

<b>子どもの思いや願い(自立活動の視点も含む)</b> ~未来へのスケッチより たくさんの人と仲良くなりたい。 自分のことを自分でできるようになって、結婚したい。 コンビニの店員さんになりたい。 働いて地道にお金を稼ぐ人になりたい。 お金をもらって生活したい。 たくさんの人に、自分の曲を聴いてもらったり、絵を見てもらったりしたい。 みんなに優しい人になりたい。	
<b>学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い</b> ・学んだことを実際の生活の中で実践しようとする。 ・自分の長所や短所が分かり、よいところを伸ばそうとしたり、課題を解決しようとする。 ・友達のよいところや頑張り認め、伝え合う。 ・今頑張っていることや自分の課題を解決していくことが、将来の生活につながると分かる。	
<b>年間の単元計画</b> ○将来(高等部)に向けて ~自分のこと、自分の目標、高等部調べ、実習見学、施設・職場見学、高等部体験、面接練習 ○生活マスターへの道 ~入浴、清潔(つめきり、汗の始末、洗顔等)、食事の役割、簡単な調理(電子レンジ、炊飯器の使い方)、裁縫	<b>系統的な視点から</b> *「学習内容参考一覧」参照
<b>教師の支援(手立て)</b> ・個に応じた支援・学習内容、グルーピングの工夫。 ・家庭でも実践できるように、学校での取り組みを家庭に伝える。 ・生徒の姿を伝えたり、認めたりする。 ・ワークシートの活用(学びの履歴)	
<b>授業の工夫(しかけ)</b> ・身近な先輩を手本にできるように。憧れの人がいればいいなあ・・・ ・とにかく体験、実践、繰り返し!(日々の生活や他教科等にも取り入れる) ・実験的な活動も取り入れたい。	
<b>関連する各教科等(内容を含む)</b> ・日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、国語、数学	

### 出されたアイデア

- ・生徒の実態に差がある中で、卒業後に向けて、繰り返しの学習をして、経験を積み重ねる。
- ・学んだことを学校以外の場面でも生かすことができるように家庭や寄宿舎と連携をする。
- ・夏休みに生徒が具体的に考えたり、体験から学んだりできるような課題を出す。
- ・自分の得意なこと、苦手なことを知ることができるように、振り返りや達成感などを大事にする。
- ・今は大きな夢を思い描いているが、高等部になったときに、より現実的な夢をもてるように、実習の内容を工夫したり、生徒の実態に応じて求められる部分を考えたりする。

## 高等部2年 職業科



<b>子どもの思いや願い(自立活動の視点も含む)</b> ・自分の好きなことや得意なことを仕事にしたい。 ・働く力や生活する力をつけたい。(人間関係の形成、コミュニケーション、心理的な安定)	
<b>学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い</b> ・働くために必要な知識や生活するために必要な力を身に着け、実践する姿。 ・働くことの意味や目的を知り、勤労意識を高める。 ・自分のペースにあった仕事場を見つけてほしい。	
<b>年間の単元計画</b> ・Ⅰ期現場・校内実習 事前・事後学習 ・仕事と生活① ・Ⅱ期現場・校内実習 事前・事後学習 ・仕事と生活② ・困ったときの対応 ・未来へのスケッチ	<b>系統的な視点から</b> 〈高1〉 ・校内実習 ・身近な人の働く姿・仕事内容 〈高3〉 ・現場実習 ・進路決定
<b>教師の支援(手立て)</b> ・仕事と余暇の過ごし方の理解を通して、仕事と趣味を分けて考えられるようにする。 ・現場実習先からの評価やエピソードをもとに、自己理解を深める。 ・未来へのスケッチを活用し、将来の姿から学期ごとの目標や課題を明確にする。	
<b>授業の工夫(しかけ)</b> ・失敗談や課題を共有することで、否定的に自身を捉えずに誰にでもあることとして捉え、課題を克服する方向へ進めるようにする。 ・本人の進路希望と実現可能な生活する姿の提示(個に応じて)	
<b>関連する各教科等(内容を含む)</b> 国語科(メモの取り方と活用) 数学科(軽量・計測・お金の学習) 生単(コミュニケーション・役割) 家庭科(掃除・洗濯・身だしなみ) 総合(防災) 作業学習(作業能力・コミュニケーション・役割・責任) 日常生活(挨拶・身だしなみ・話し方)	

### 出されたアイディア

- ・現場実習Ⅰ期での気付きなどを個々の学びへ生かすことができるように目標設定や振り返りを大事にする。
- ・個々の課題は個別で振り返り、良さをみんなでも共有する。
- ・どのように生活や実習をすればいいか具体的なイメージをもてるように、項目を提示する。  
 例) 元気に行けたか、ごはんを食べてきたか、分らないことを聞いたか、挨拶ができたか
- ・自分を知ってもらうことは大事である。また、自分の知らないことを知る、相手を認めることも大事である。
- ・学びをつなぐために、未来へのスケッチを見直し、活用できるようにする。
- ・生徒の理解力に差があるため、教師が個別対応をしたり集団で学んだりしながらフォローをする。

## 高等部3年 職業科



<b>子どもの思いや願い(自立活動の視点も含む)</b> ・友達との会話を楽しんだり、自分の気持ちや考えを伝えたりしたい。(コミュニケーション) ・報告・連絡・相談を自分から話せるようになりたい。(人間関係の形成、コミュニケーション) ・立派な社会人になりたい。(心理的な安定) ・分らないときに自分から確認できるようになりたい。(人間関係の形成、コミュニケーション)	
<b>学習グループ全体で育みたい姿、教師の思いや願い</b> ・自分で調べたことや自分の思いを自ら発表する姿。 ・学んだことを実際の生活の中で活用できる姿を伸ばしたい。 ・挨拶や返事など卒業後の社会生活で大切なことが分かり、日々の生活で実践する姿。	
<b>年間の単元計画</b> ○オリエンテーション ○生活マップを作ろうⅠ (卒業後の生活に役立つマップの作成) ○実習に向けて ○実習を終えて(実習の振り返り) ○生活マップを作ろうⅡ (卒業後の生活に役立つマップの作成) ○立派な社会人になるために	<b>系統的な視点から</b> ・卒業後、悩みを相談できる関係づくり ・学校で社会のルールを学ぶ(規範意識) ・基本的な生活習慣の確立 ・自立した生活を送るための知識、技能の習得
<b>教師の支援(手立て)</b> ・自分の考えや調べたことをまとめやすくするためのワークシートを活用する。 ・自分たちで調べながら課題を解決していく学習を中心に、教師が教えながら進めていく学習も実施し、相互に組み合わせて学習を進める。 ・生活面や実習に向かう態度などをスキルアップするために具体的な実践や体験を取り入れる。 ・考えたり調べたりすることが苦手な生徒のために、具体的に考えることができる資料を準備したり、調べるヒントを提示したりする。 ・自分の考えや思いを発表することから、グループ全体での話し合い活動へと発展させていく。	
<b>授業の工夫(しかけ)</b> ・生徒が主体的に調べ学習をできるように、タブレット端末を利用する。 ・伝える力を伸ばすために、日常の社会生活で深く関わりのある施設や、公共交通機関などを一人一人がテーマごとに調べ、発表する機会を設ける。 ・実際の場面を想定したロールプレイや実際に経験する場を設ける。 ・実習とのつながりを考慮する。	
<b>関連する各教科等(内容を含む)</b> ・国語、数学、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、実習、家庭科	

### 出されたアイディア

- ・生活マップを作るにあたり、自分の地域を調べることがよいのではないかと。
- ・マップの中にQRコードで情報を読み取る形があればいい。
- ・生徒の実態や課題を踏まえた学習内容の設定やゴールを示す。
- ・実際にマップを活用できるか試す場面を設定する。
- ・卒業後「〇〇したい」という本人の願いが大事である。
- ・楽しいこと、余暇をするためには働いて稼ぐにつながるよ。
- ・働く→帰る(帰る途中に店に行く?)  
 1日の具体的なイメージをもつようにする。
- ・お金のかからない余暇の場を見つける。
- ・教師の余暇の紹介をすることで、様々な楽しいことがあることを知ったり、興味関心をもったりできる場を設ける。
- ・体験的な活動を通して学べる工夫をする。

